

ウェルネオシュガー株式会社

2026年3月期決算・中期経営計画説明会

2026年5月27日 | 証券コード 2117

Agenda

冒頭のご挨拶

01 2026年3月期決算及び2027年3月期予想

- (1) 2026年3月期決算
- (2) 2027年3月期予想

02 中期経営計画の進捗 WELLNEO Vision 2027

- (1) 中期経営計画 WELLNEO Vision 2027
- (2) 重点戦略①：Food & Wellnessの事業拡大
- (3) 重点戦略②：Sugarの基盤強化
- (4) 重点戦略③：人的資本経営の推進
- (5) 重点戦略④：サステナビリティ経営の推進

03 財務戦略

- (1) 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応
- (2) 取組み①：ROIC経営の実践
- (3) 取組み②：キャッシュアロケーション
- (4) 取組み③：株主還元

01

**2026年3月期決算及び
2027年3月期予想**

(1)2026年3月期決算 -概要-

- Sugarセグメントは、東洋精糖の連結により増益
- Food & Wellnessセグメントは、東洋精糖の連結や、前期に続きフィットネス事業において減損損失を計上したものの、減損損失計上額が前期を下回ったことにより増益

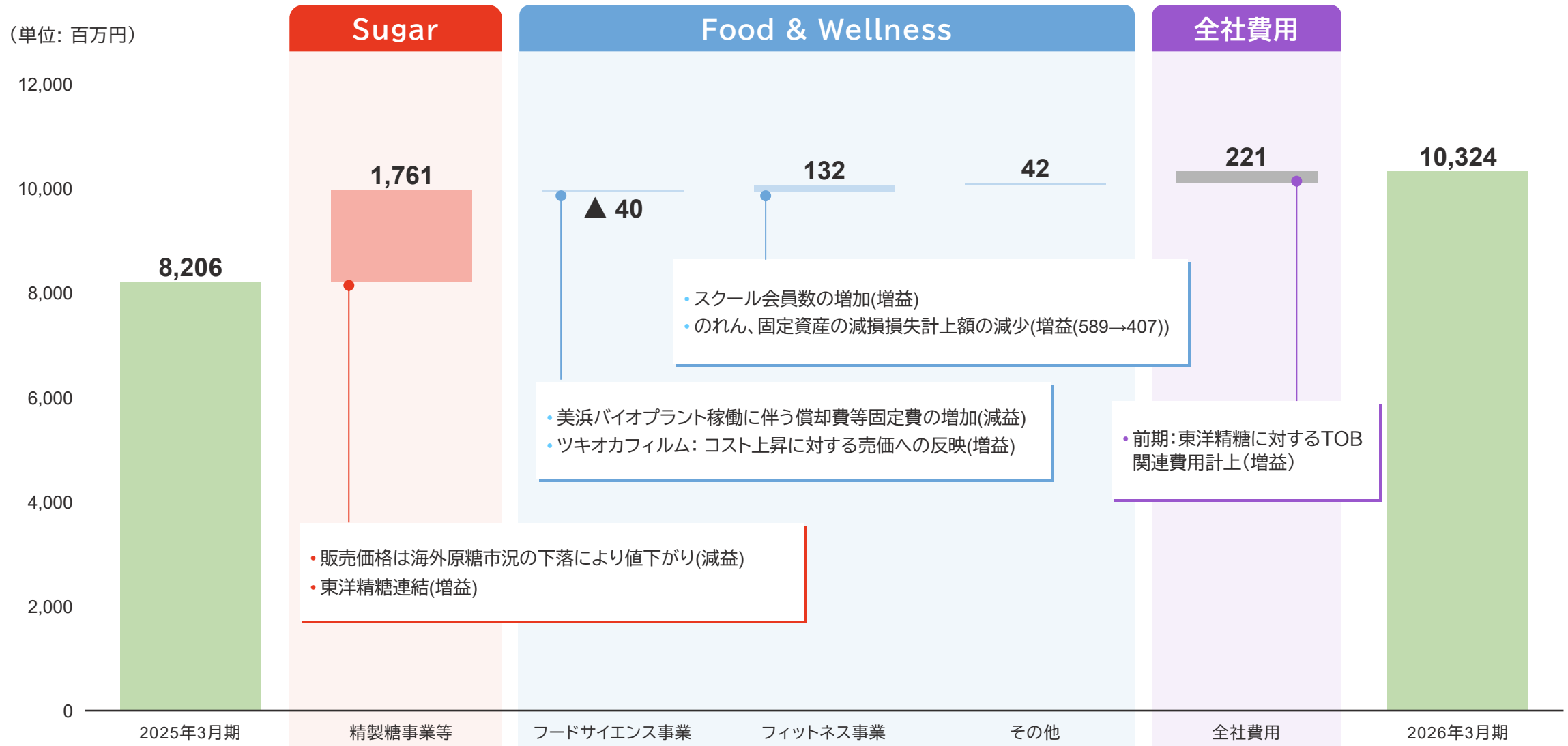
(単位: 百万円)	2026年 3月期	2025年 3月期	前期比増減		2026年 3月期 公表予想	公表予想増減	
			金額	変化率		金額	変化率
売上収益	112,904	97,069	15,834	16.3%	114,000	▲1,095	▲1.0%
■ Sugar	96,712	83,800	12,911	15.4%	98,500	▲1,787	▲1.8%
■ Food & Wellness	16,192	13,269	2,922	22.0%	15,500	692	4.5%
営業利益	10,324	8,206	2,118	25.8%	8,500	1,824	21.5%
■ Sugar	※1) 11,084	9,323	1,761	18.9%	8,800	2,284	26.0%
■ Food & Wellness	※2) 118	▲16	135	—	700	▲581	▲83.0%
■ 全社費用	▲879	▲1,100	221	—	▲1,000	120	—
持分法による投資損益	※3) ▲581	252	▲833	—	—	—	—
税引前利益	9,764	8,558	1,205	14.1%	8,500	1,264	14.9%
当期利益	6,508	5,746	761	13.3%	5,900	608	10.3%
親会社の所有者に帰属する当期利益	6,472	5,746	725	12.6%	5,900	572	9.7%

※1) 砂糖生産設備の減損損失(37百万円)を含む

※2) フィットネス事業と倉庫事業における減損損失(428百万円)を含む

※3) 一過性費用(688百万円)を含む

(1)2026年3月期決算 -業績要因分析(営業利益の増減理由)-



(1)2026年3月期決算 -キャッシュ・フロー計算書-

2026年3月期の概況

- 営業C/F 10,764百万円 の収入 : 税金等調整前当期純利益(9,764百万円) 等
- 投資C/F 4,707百万円 の支出 : 固定資産の取得(4,560百万円) 等
- 財務C/F 11,039百万円 の支出 : 短期借入金の純減額(5,800百万円)、配当金の支払(3,588百万円) 等

(単位: 百万円)	2026年 3月期	2025年 3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,764	8,927
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲4,707	▲8,977
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲11,039	2,986
現金及び現金同等物の増減額	▲4,983	2,935
現金及び現金同等物の期首残高	15,445	12,509
現金及び現金同等物の期末残高	10,461	15,445

(1)2026年3月期決算 -財政状態計算書-

■ 前期末比の概況

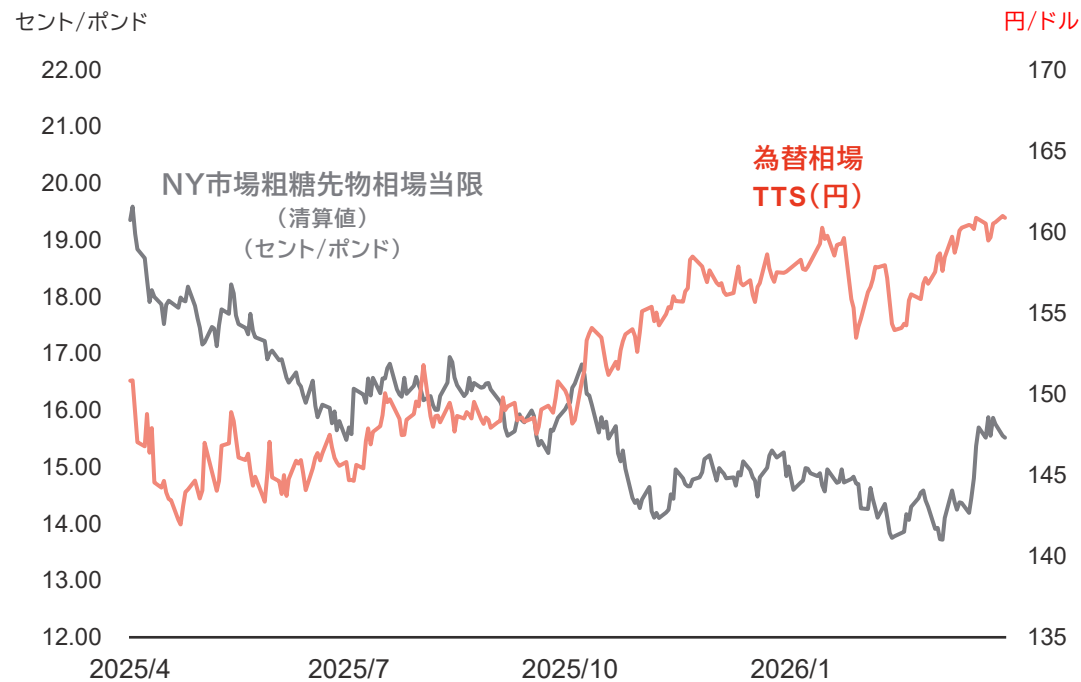
- 流動資産 : 短期借入金の返済(5,800百万円)等により現金及び現金同等物が減少
- 非流動資産 : 設備更新により有形固定資産が増加
- 流動負債 : 短期借入金が減少
- 資本 : 親会社所有者に帰属する当期利益(6,472百万円)、配当金の支払(▲3,587百万円)

	(単位: 百万円)	2026年 3月期末	2025年 3月期末	増減
流動資産		40,835	47,051	▲6,216
非流動資産		64,992	63,533	1,458
資産合計		105,827	110,585	▲4,757
流動負債		24,558	32,009	▲7,450
非流動負債		4,071	3,989	82
資本		77,197	74,586	2,610
負債・資本合計		105,827	110,585	▲4,757

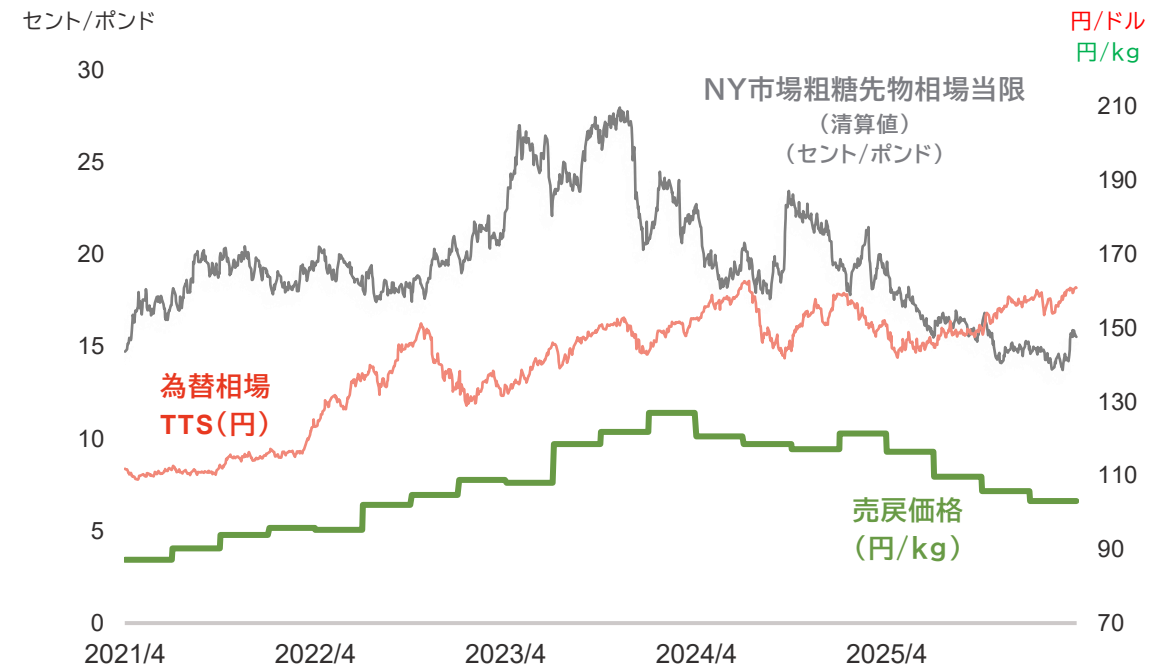
(1)2026年3月期決算 -市況動向-

- 1ポンド当たり18セント台後半で始まり、今期最高値となる19セント台半ばまで上昇
- その後、米国の関税政策発表による世界景気に対する不透明感や、主要生産国の増産見込み等から今期最安値となる13セント台半ばまで下落したものの、中東情勢悪化による原油価格の上昇等に伴い、15セント台半ばまで上昇し当連結会計年度を終了

2026年3月期の状況



最近5か年の状況

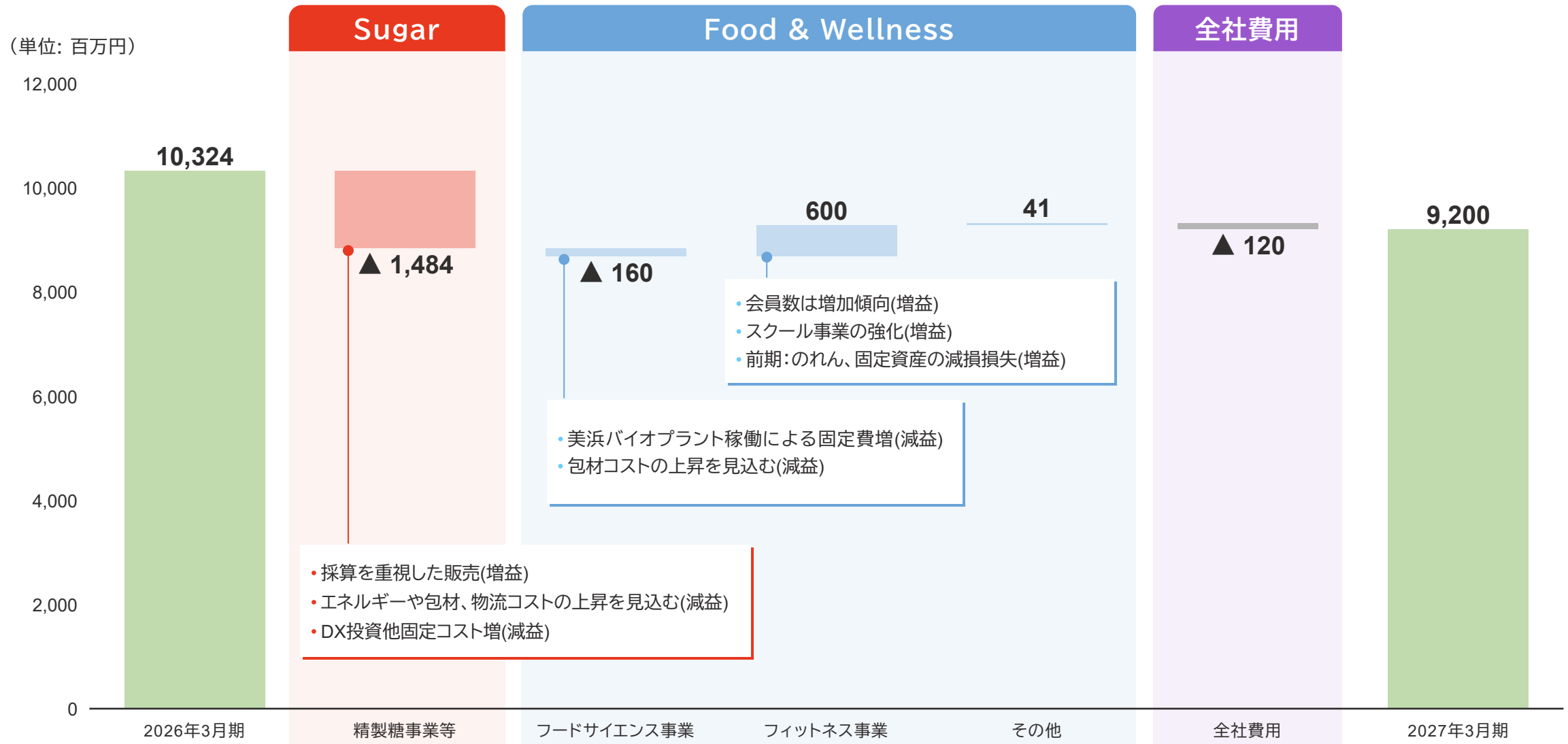


(2)2027年3月期予想 -概要-

- Sugarセグメントは、採算を重視した経営に努めるものの、中東情勢の悪化によるエネルギーや包材、物流費などのコスト上昇影響が大きく減益
- Food & Wellnessセグメントは、前期にフィットネス事業で減損損失を計上したため増益

	(単位: 百万円)	2027年 3月期	2026年 3月期	前期比増減	
				金額	変化率
売上収益		110,000	112,904	▲2,904	▲2.6%
■ Sugar		94,500	96,712	▲2,212	▲2.3%
■ Food & Wellness		15,500	16,192	▲692	▲4.3%
営業利益		9,200	10,324	▲1,124	▲10.9%
■ Sugar		9,600	11,084	▲1,484	▲13.4%
■ Food & Wellness		600	118	481	405.6%
■ 全社費用		▲1,000	▲879	▲120	—
税引前利益		9,400	9,764	▲364	▲3.7%
当期利益		6,500	6,508	▲8	▲0.1%
親会社の所有者に帰属する当期利益		6,500	6,472	27	0.4%

(2)2027年3月期予想 -業績要因分析(営業利益の増減理由)-



02

中期経営計画の進捗 WELLNEO Vision 2027

(1) 中期経営計画 WELLNEO Vision 2027 -定量目標-

- SugarセグメントとFood & Wellnessセグメントの両輪で“Well-being”を実現すべく、両事業の強化・拡大を図る
- 2028年3月期の計画(ROE 9%・親会社の所有者に帰属する当期利益 70億円)の達成に向けて、順調に進捗中
- 2028年3月期のSugarセグメントとFood & Wellnessセグメントの営業利益+持分法による投資損益の計画を変更

(単位: 百万円)	2026年3月期		2027年3月期	2028年3月期
	(予想)	(実績)	(予想)	(計画)
営業利益 + 持分法による投資損益	8,500	9,742	9,500	10,100
■ Sugar	8,800	※1) 10,738	9,800	9,900
■ Food & Wellness	700	※2) ▲117	700	1,500
■ 全社費用	▲1,000	▲879	▲1,000	▲1,300
親会社の所有者に帰属する当期利益	5,900	6,472	6,500	7,000
ROE (株主資本コスト 2026年3月期: 6.0%)	8%	8.6%	8.3%	9%

※1) 一過性費用(458百万円)を含む

※2) フィットネス事業における減損損失と一過性費用(694百万円)を含む

(1) 中期経営計画 WELLNEO Vision 2027 -重点戦略-



- 4つの重点戦略の推進により、“Well-being”の実現を目指す

① Food & Wellnessの事業拡大



- フローラデザイン素材とポリフェノール素材の積極拡大
- 統合シナジー効果の拡大
- M&Aを通じたフードサイエンス事業の成長

② Sugarの基盤強化



- 統合シナジー効果の拡大
- 業界再編に応じて、更なる基盤拡充策の推進

③ 人的資本経営の推進



- “挑戦”を促す人事施策の実施
- 従業員のエンゲージメント最大化と“Well-being”実現
- 人材の多様性確保とオープンな組織風土の醸成

④ サステナビリティ経営の推進



- おいしさと健康の両立に役立つ製品・サービスの提供
- 気候変動対策、資源の有効利用
- 安全・安心の提供、人権尊重



ヒト向け

機能性食品素材

糖由来素材・糖転移技術
(当社コア領域)

モノ向け

食品添加物

一人間の健康をサポート

食品の品質を改善

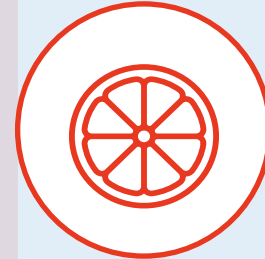
素材



医薬・
化粧品素材



フローラデザイン
素材



ポリフェノール
素材



高甘味度
甘味料



糖由来
甘味料

製造加工

ツキオカフィルム製薬



製剤・加工機能
(可食フィルム)

美浜バイオプラント・東洋精糖 千葉工場



製造機能
(酵素処理・精製・造粒)

ツルヤ化成工業



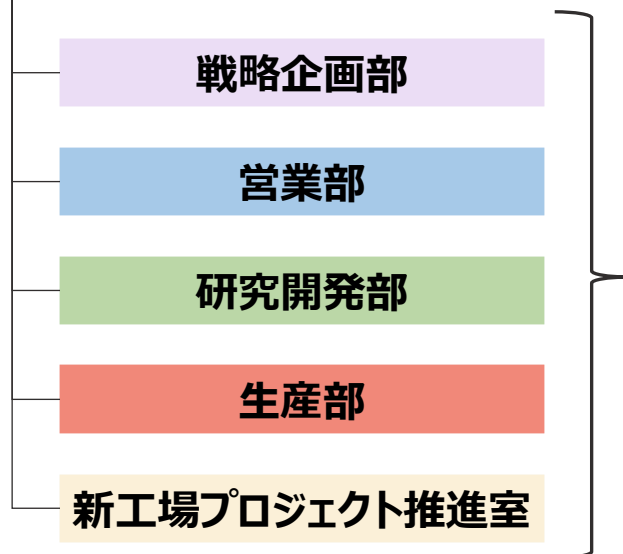
製剤・加工機能
(混合・造粒)



- 2026年10月に機能性素材組織を本部へ格上げし、グループの知見を効果的に結集できる組織体制とする
- 拠点を集約し、効率的組織運営を実施 ⇒ 第一弾として26年度中に東洋精糖のR&D組織を美浜バイオプラントに移管予定

新組織体制の構築

機能性素材本部



人員数
約30 ⇒ 80名(予定)

- 機能別4部 + 1室体制
- 品質保証・生産技術領域は、全社組織と連携して対応

直近実施した主な施策

CI設備増強完了

- CI(サイクロデキストラン)の増産に向け、千葉工場内美浜バイオプラントに設備設置完了
- 沖縄ラボからの生産移管を進め、2026年4月から本格稼働開始



各種研究成果

- 2026年4月にCI(サイクロデキストラン)の**機能性表示食品**としての届出が正式に受理
- CI(サイクロデキストラン)に関連する特許3件が成立
 - CIの抗う蝕効果(砂糖との相乗効果)
 - CI×キシリトール等の歯垢形成抑制の相乗効果
 - CIの悪玉菌抑制効果



- 製造能力の拡張、供給安定化、人員体制の効率化を企図し、機能性素材の製造拠点の整備を実施

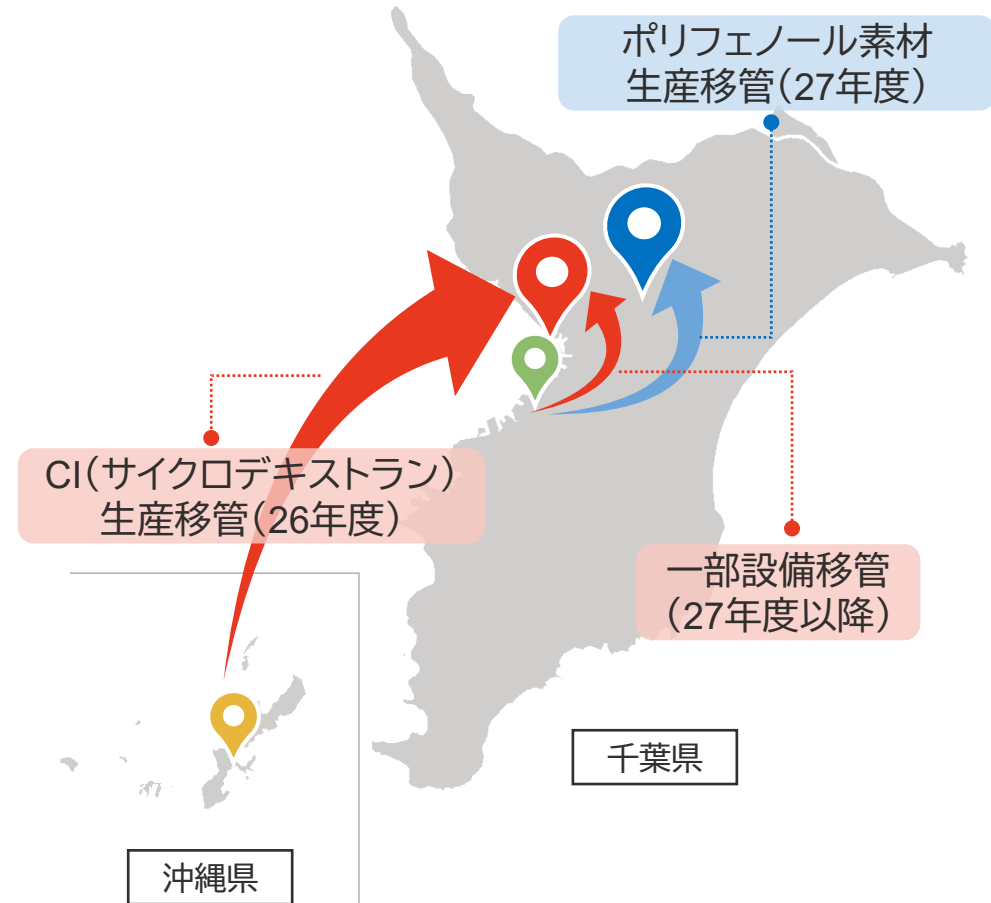
東洋精糖 新工場建設

- 現千葉工場は、製造能力が限界に達していることから、千葉県佐倉市に新工場を建設中(**2027年4月に稼働開始予定**)
- 生産能力は現千葉工場比で**約2~3倍に拡張**
- 現千葉工場の各種機能は新工場及び美浜バイオプラントへの移管を順次進める

美浜バイオプラント

- 2025年4月にガラクトオリゴ糖の生産を開始
- 2026年4月にCIの生産を沖縄ラボから移管し、生産能力を**約10倍に拡張**
- 沖縄ラボについては研究開発用途での活用を検討

- 美浜バイオプラント(千葉市)
- 東洋精糖 千葉工場(市原市)
- 東洋精糖 新工場(佐倉市)
- 沖縄ラボ(うるま市)





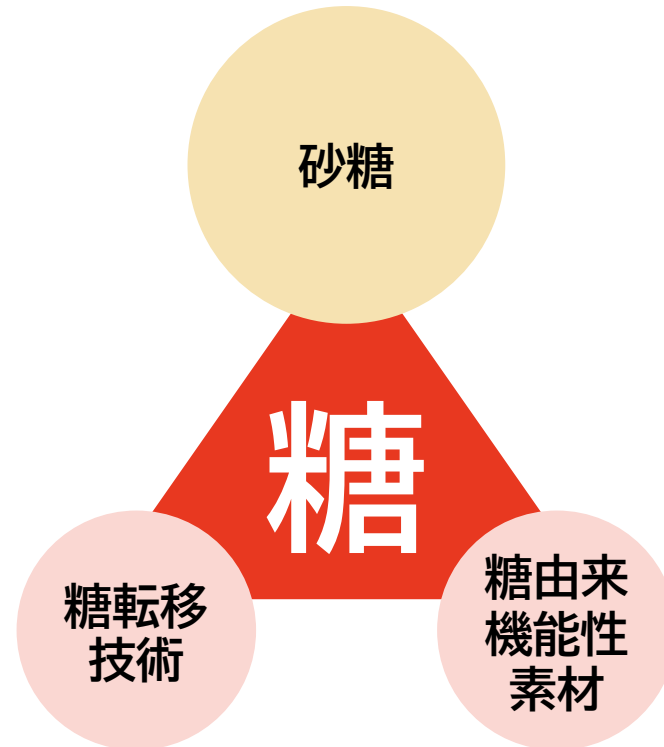
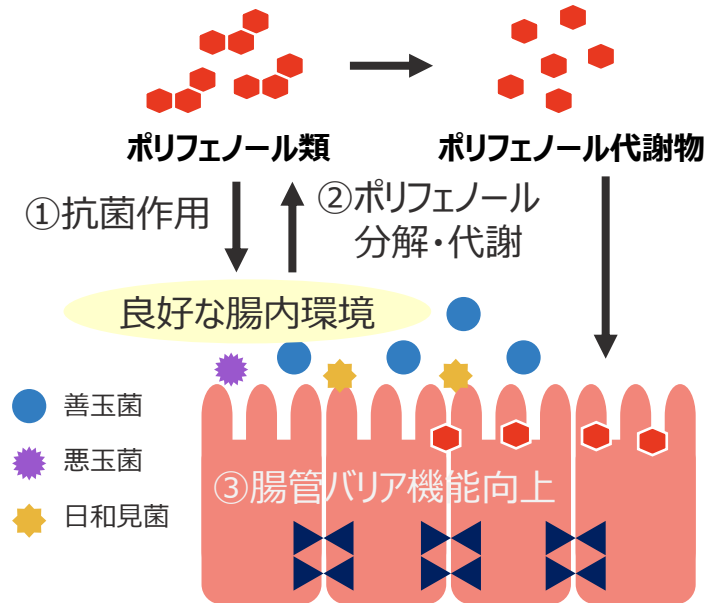
日本を「糖」を起点とする機能性素材・技術の先進国にする

フローラデザイン素材と
ポリフェノール素材の掛け合わせ

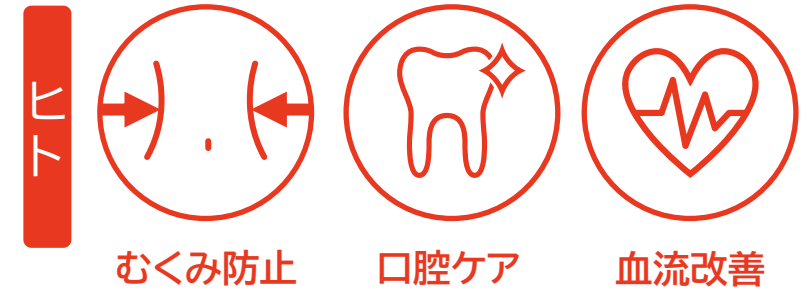
糖由来素材・技術の深堀

顧客のニーズに合わせた
ヒト・モノへの機能性を提供

例)ポリフェノール×オリゴ糖による
腸内環境の変化・改善を促進
⇒腸管バリア機能の向上等、全身の健康に寄与



機能性食品素材市場:約2,500億円(素材ベース)



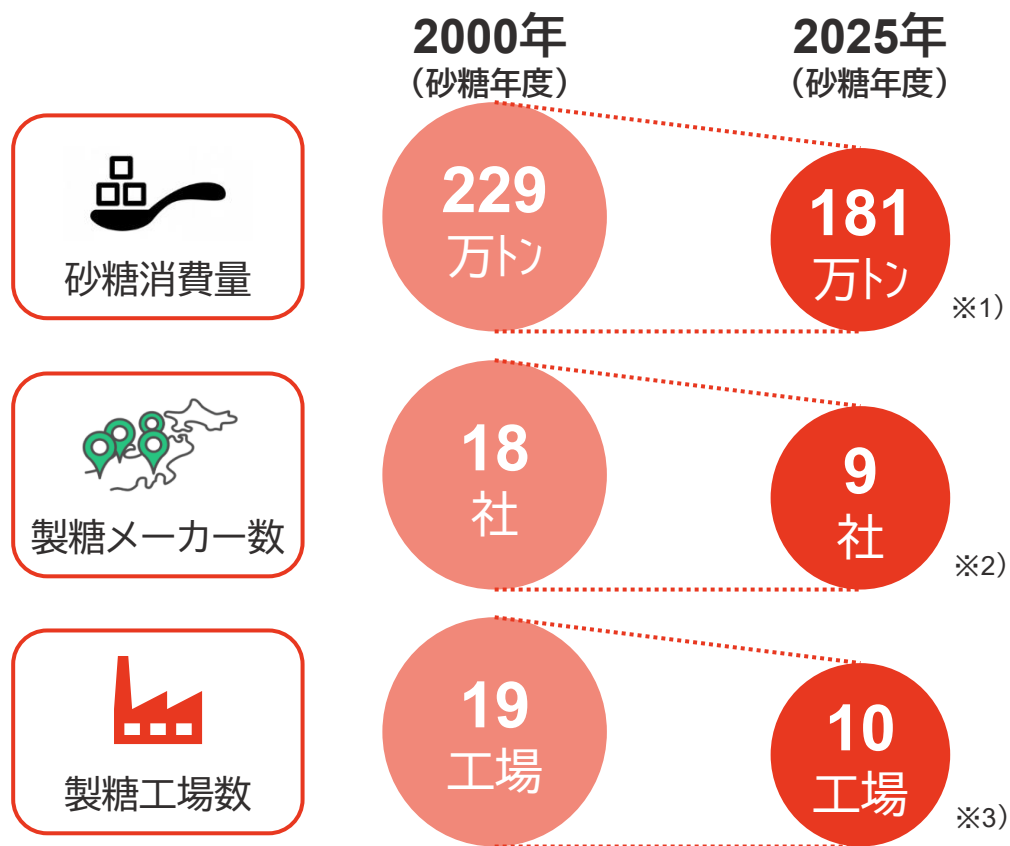
食品添加物市場:約1兆3,000億円(素材ベース)





- 国内の砂糖消費量は過去25年間で約20%減少、それに伴い製糖メーカー数・工場数ともに約半数まで再編が進む
- 現10工場の内、5工場が当社生産拠点(一部共同生産工場)であり、業界再編を通じて、安定供給体制を強化

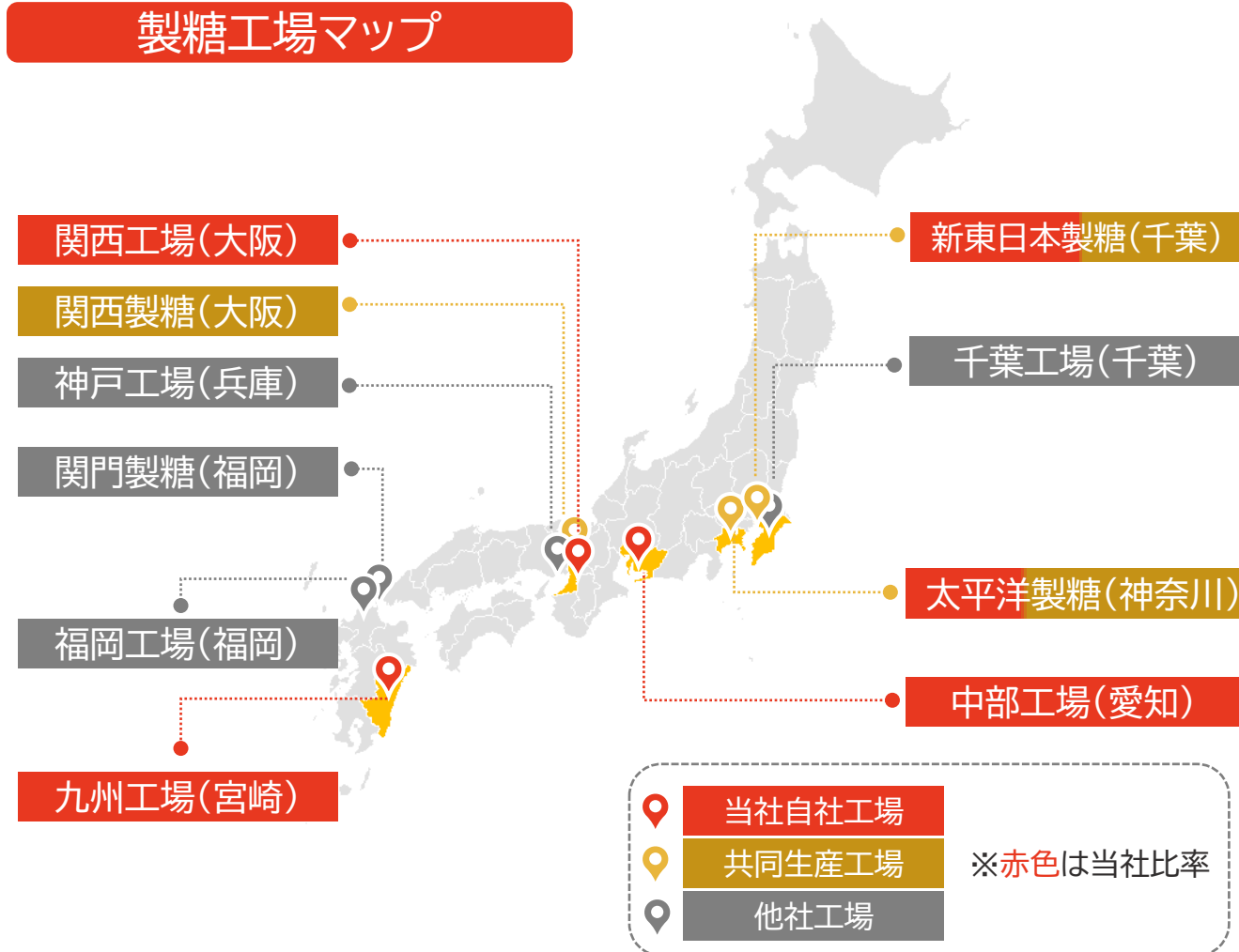
国内砂糖業界 過去推移



※1) 農林水産省「砂糖及び異性化糖の需給見通し」資料中の「総需要量」

※2)3) 当社調べ(2026年4月1日現在)

製糖工場マップ





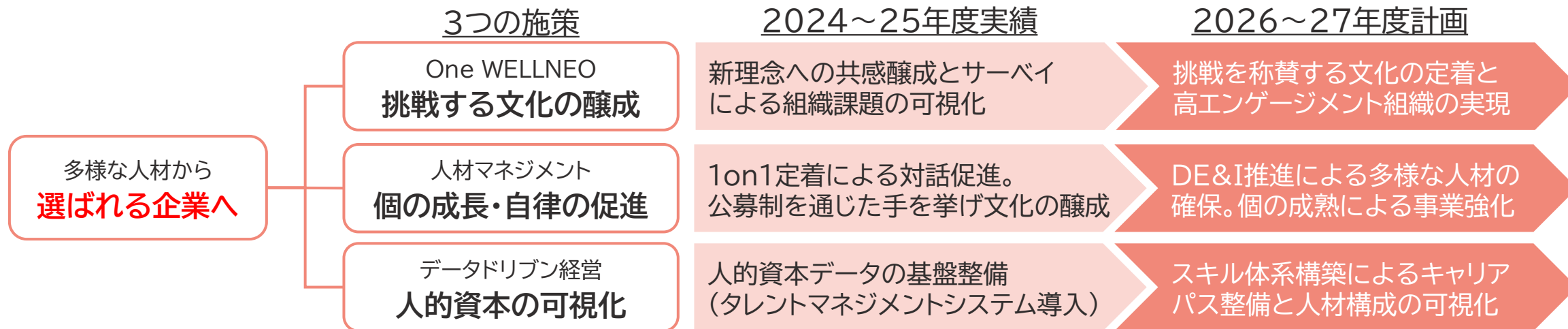
- 2年間で約12億円(営業利益)のシナジーを実現。全5工場の最適化により、残り期間で更なるシナジーの拡大を追求する



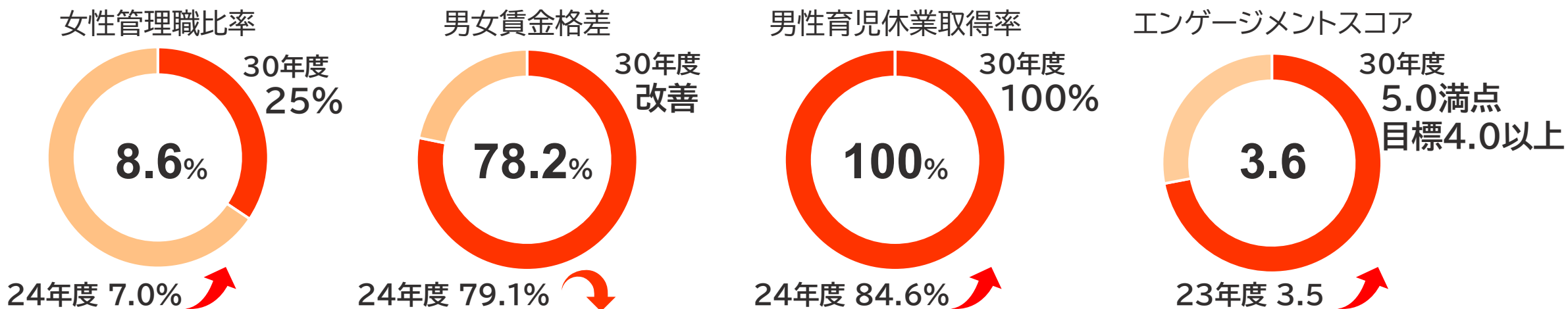
(4)重点戦略③ | 人的資本経営の推進



- 社員の挑戦を事業成長へつなげ、統合シナジーの最大化と新たな価値創出を実現する人的資本経営を推進



- 主要KPI(2025年度実績)





ウェルネオシュガーグループ サステナブル・ビジョン 2030

- 全社横断的な推進体制へ

SUSTAINABLE VISION 2030

食と健康の課題解決による生活品質の向上

安全で高品質な製品の安定供給

多様な人材が活躍できる職場の実現

未来へつながる自然との共生

従業員やサプライチェーンの人権尊重

ガバナンス体制の強化/コンプライアンスの徹底

分科会による取組

- ・ 業務執行部門と手挙げメンバーの協働によるマテリアリティに対する取組強化
- ・ 各分科会では、2030年度までの中期目標を立て、目標達成に向けた行動プランを策定

社会課題への対応

- ・ 事業上の人権リスク低減 サプライヤーアンケートの準備(2026年度実施予定)
- ・ 気候変動問題への取組 2030年度 CO2排出量46%削減(2013年度比Scope1,2)
2050年度 カーボンニュートラルの実現

03

財務戦略

(1)資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

- 株主資本コストを超える水準のROEを今後も継続的に実現するため、多角的な施策を実行

方針・取組み

■ 資本効率を意識した経営の追及

- ROIC経営の実践
- 投資管理の高度化(ポートフォリオの見直し)

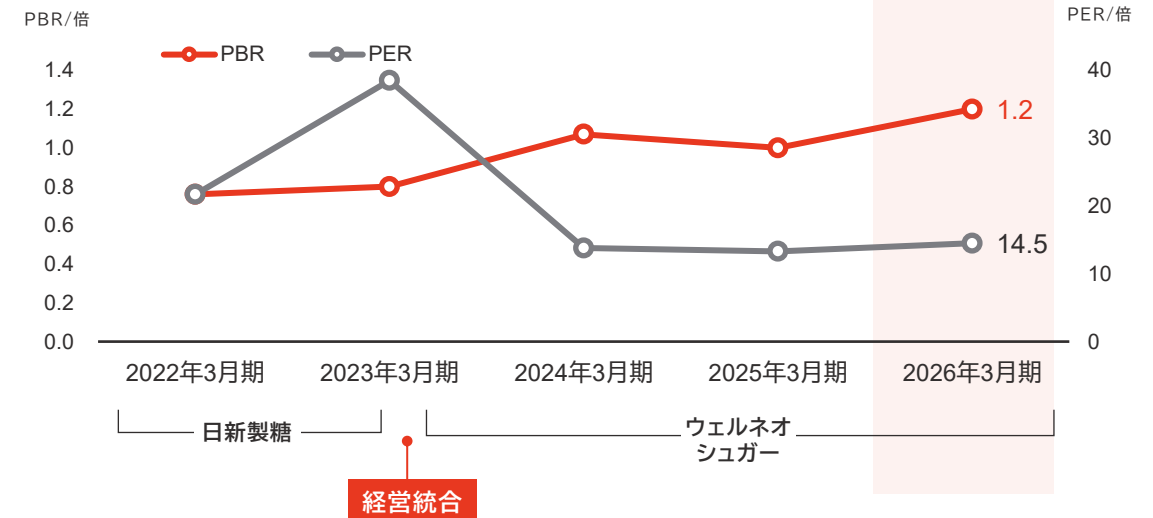
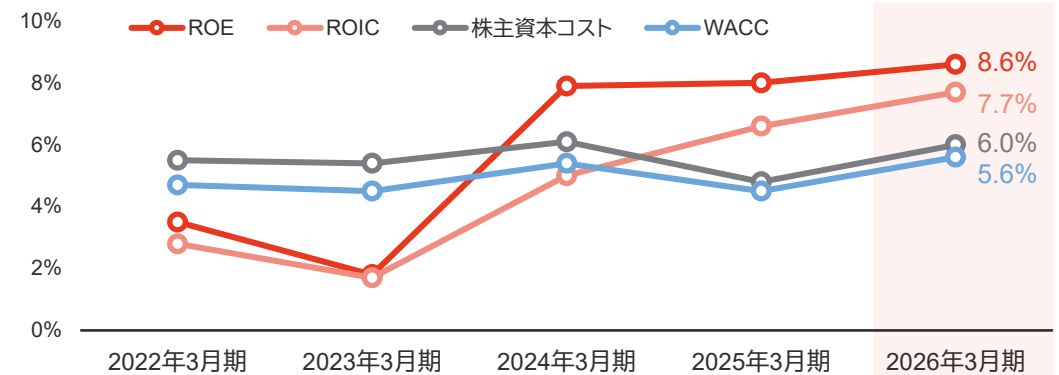
■ 成長分野への積極投資、高水準の株主還元の維持

- 最適なキャッシュアロケーションの検討

■ 資本コストの低減、財務健全性の確保

- 最適資本構成に向けた有利子負債の活用
- 発行体格付「A-」以上の維持(株式会社格付投資情報センター)
- IR施策の拡充(情報発信や機関投資家との面談頻度向上等)

各種指標の推移



- ROIC・関連指標(主要KPI含む)を定期的に確認し進捗を協議。社内での啓蒙活動等、ROIC経営の浸透施策を推進中

取組み内容



SugarセグメントのROICツリー作成

- ・2025年度から四半期ごとに作成
- ・取締役会・経営会議にて協議



主要KPIの設定

- ・営業利益に関するKPIを設定
- ・投下資本の重点課題は在庫の最適化と設定

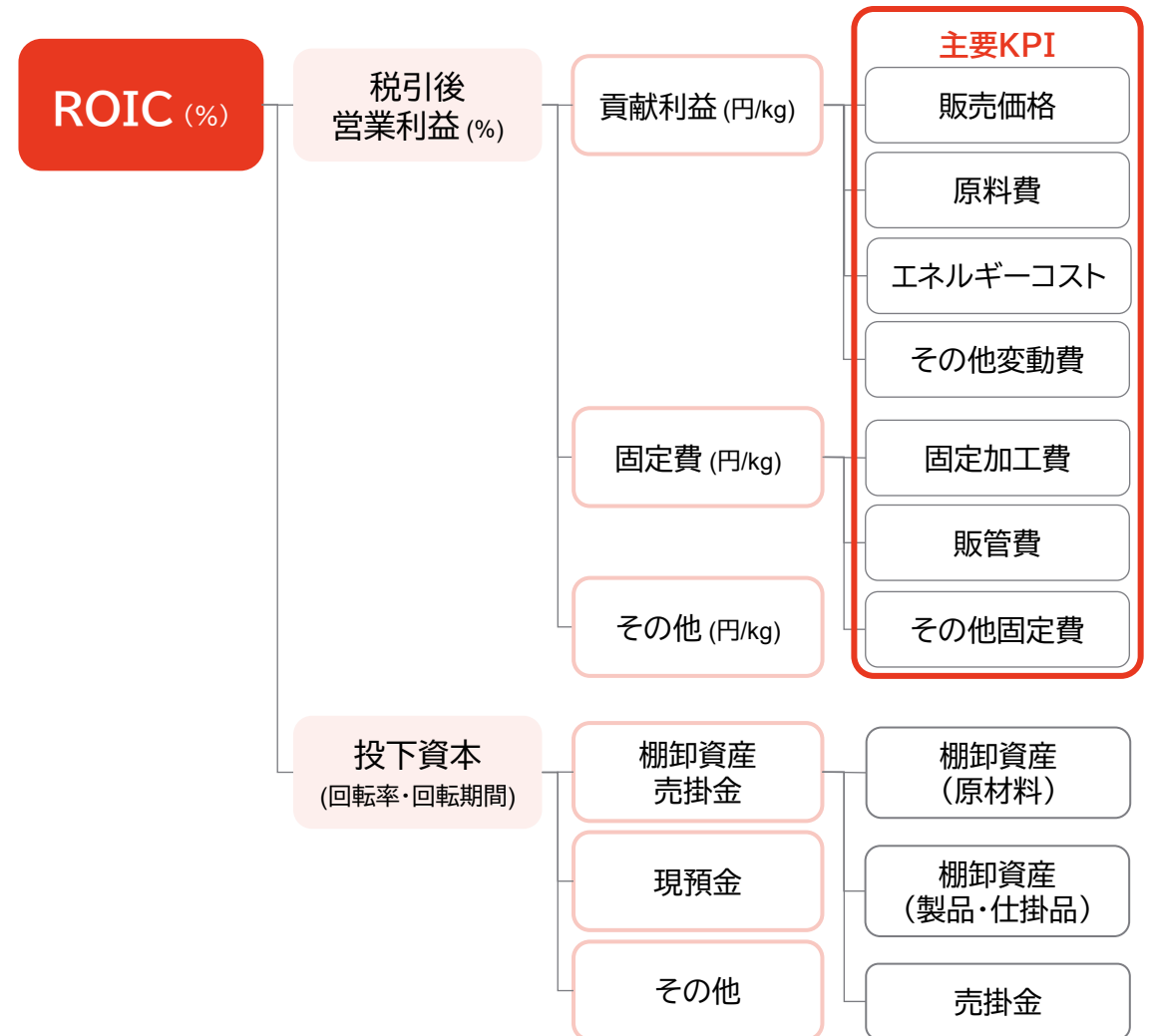


社内説明会の実施

- ・社内の理解度向上のため、役員・社員問わずROICの意義・現場指標との繋がりを説明

今後の展開

- ・ Food & WellnessセグメントでのKPI検討
- ・ 在庫最適化に向けた協議を通じ、具体策の検討・実行
- ・ 社内啓蒙活動の継続実施



(3)取組み② | キャッシュアロケーション

- 2期間(2025年3月期・2026年3月期)累計のキャッシュ・フローは、概ね中計通りに推移
- 残りの投資枠は、フードサイエンス事業の成長に向けたM&Aを中心とした成長投資に積極的かつ戦略的に活用
- 成長投資の資金は、借入金で賄うことを想定

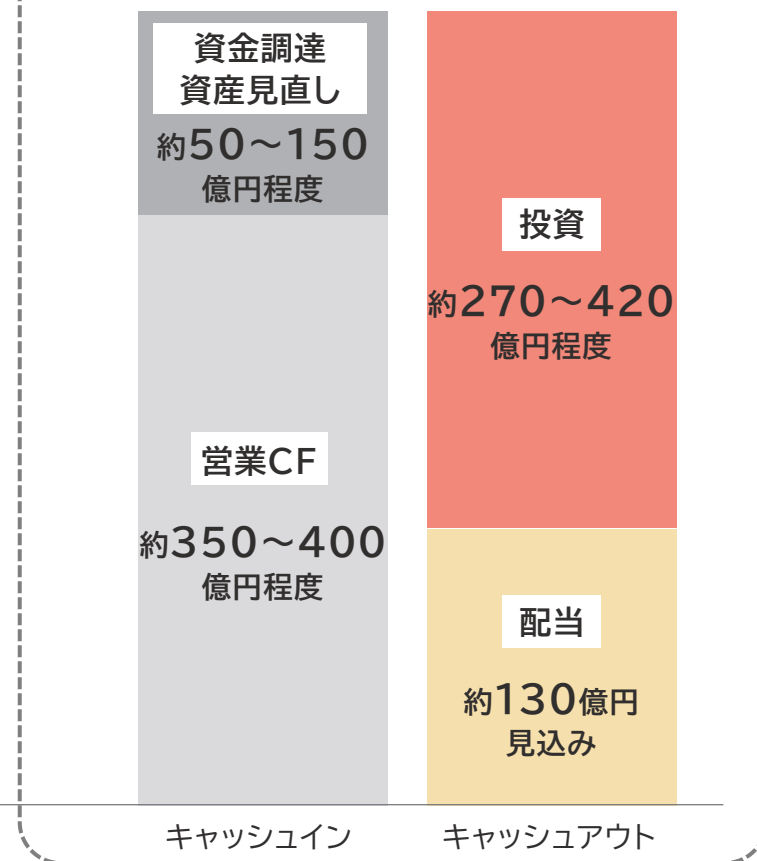
2期間累計実績



3期間累計見込み



4期間累計(中計作成時)



※1) 東洋精糖株式取得 76億円、固定資産取得 73億円を含む

(4)取組み③ | 株主還元

- 中長期的に親会社所有者帰属持分の当期利益率(ROE)向上を図り、成長投資と株主還元充実を両立
- 配当に加え、当社株式への投資魅力を一層高めるため、株主優待として、継続保有期間に応じて自社製品を贈呈

配当

配当方針

連結配当性向(DPR)60%、または親会社所有者帰属持分配当率(DOE)3%のいずれか大きい額を基準に配当

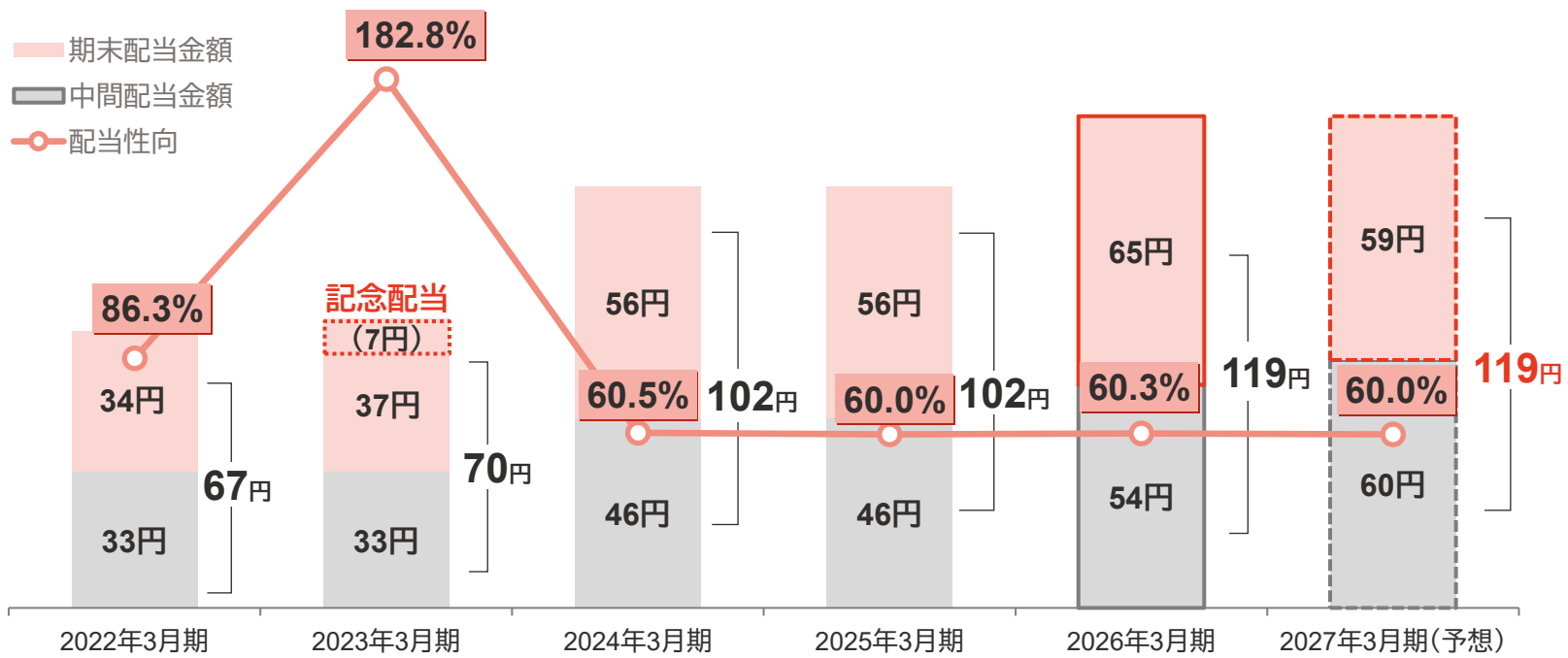
2027年3月期
1株当たり年間配当額
(予想)

119円

(基準:DPR60%)

株主優待

保有期間	3年未満	3年以上
優待内容	1,000円相当の自社製品	2,000円相当の自社製品



(2025年度の株主優待品)



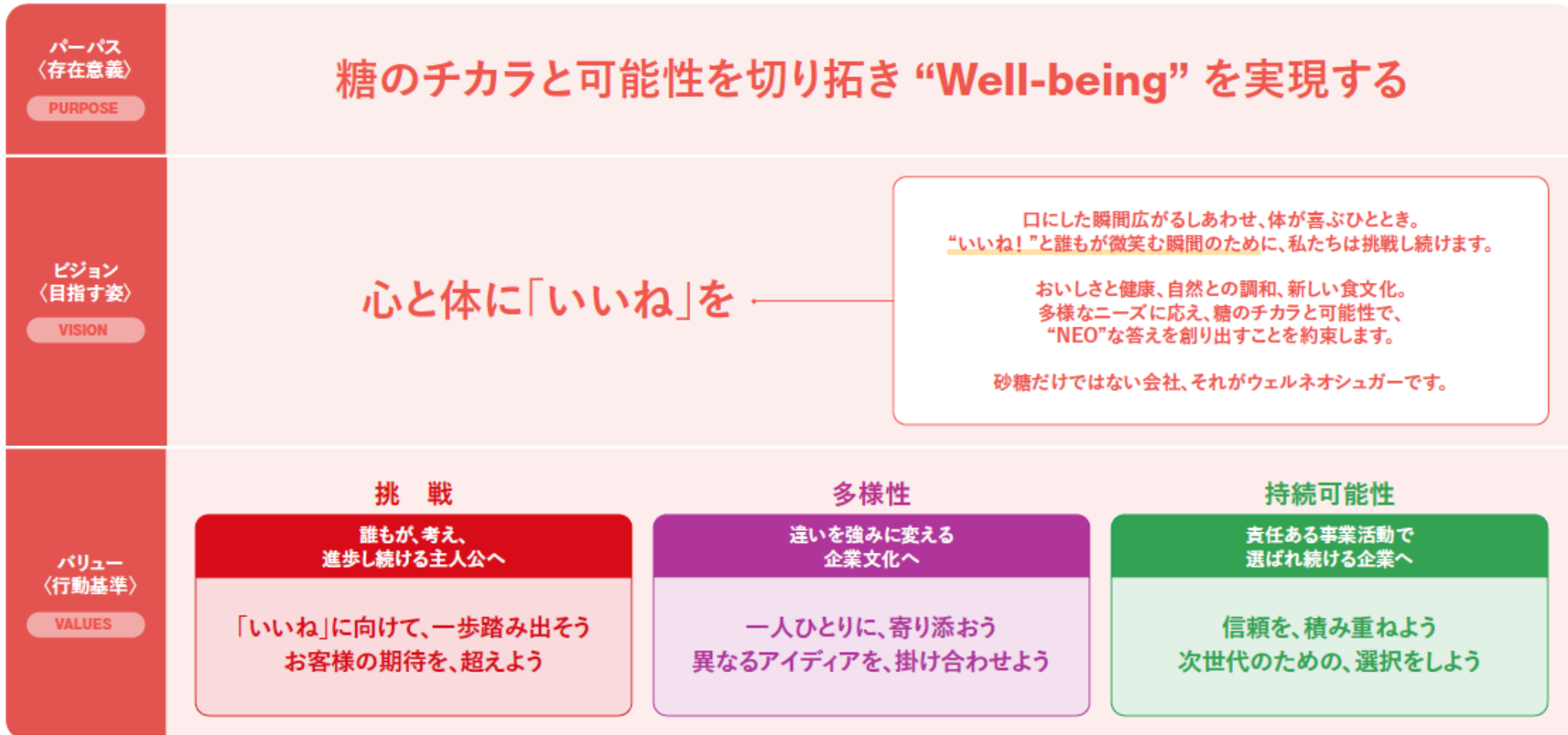
※上段3品が1,000円相当(保有期間3年未満)。2,000円相当は上段3品に下段4品を追加(保有期間3年以上)。

Appendix

- 昨年度に再整備したPVVの下、持続的な成長と、中期経営計画WELLNEO Vision 2027の達成を目指す

パーパス・ビジョン・バリュー

PURPOSE・VISION・VALUES



- 東洋精糖が保有する素材が加わり、食品・飲料用途の他、医薬部外品や化粧品、健康食品素材のラインアップが拡充
- 今後はヒトの健康に訴求する機能性食品素材としての用途だけではなく、モノの物性や呈味を改善する食品添加物としての機能を掛け合わせてユーザーの幅広い機能性ニーズに対応し、事業規模拡大を目指す



CI(サイクロデキストラン)

- ✓ 世界で当社のみが製造する口腔ケアのできるオリゴ糖



ガラクトオリゴ糖

- ✓ 母乳に含まれるオリゴ糖で整腸作用や生活習慣病の予防が期待される



ルチン

- ✓ 蕎麦やエンジュに含まれ、毛細血管の強化、眼精疲労の軽減に寄与



ヘスペリジン

- ✓ 柑橘類に含まれ、血流の改善やむくみの低減に作用する



フラクトオリゴ糖

- ✓ 果物や野菜等に含まれるオリゴ糖で善玉菌を増やす効果がある



ケストース

- ✓ フラクトオリゴ糖の一種で、腸内環境の改善効果や炎症抑制作用がある



グリセリルグルコシド

- ✓ 植物に微量に含まれる成分で、美白や保湿に効果がある



ゆずポリフェノール

- ✓ 柑橘類からとれるポリフェノールで、果汁感の向上や甘酸味の改善に寄与

本資料は当社をご理解いただくために作成されたものであり、当社への投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。また、業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

お問い合わせ先

ウェルネオシュガー
総務部文書株式課

✉ ir@wellneo-sugar.co.jp

☎ **03-3668-1246**